



いじめと自尊心

～子どもを加害者にも被害者にもしないために～

年間3,000件を超える学校における「いじめ」。子どもはだれも、加害者にも被害者にもなりたくないと思っています。しかし、現代の複雑な人間関係の中、大人の知らないところで、悩みを深めている子ども達がたくさんいるのが現実ではないでしょうか。

昨年3月に岐阜市で起きた「ホームレス襲撃事件」。これは、弱者いじめという点で、子ども達がいじめと同じ問題を含んでいます。特別な若者が起こした事件ではなく、いつどこで起きてもおかしくない事件なのです。

弱者いじめの原因のひとつは、自尊心の欠如と言われます。自尊心は「ほめれば育つ」と思っている人が多いですが、安易な「ほめ方」には落とし穴もあります。すべての子ども達が「今このままの自分で価値がある」と思えるように、私たちおとなにできることを一緒に学びましょう。



きたむらとしこ
講師：北村年子氏

【北村年子氏 プロフィール】

ノンフィクションライター。自己尊重ラボ Be Myself 主宰。ホームレス問題の授業づくり全国ネット代表。女性・子ども・教育・ジェンダーを主なテーマに、ジャーナリストとして活動する一方で、これまで電話相談員、ラジオパーソナリティ、自己尊重トレーナーとしても活躍。あらゆる人の自尊心(セルフ・エスティーム)を育くむための「自己尊重ラボ Be Myself」を設立し、体験的・段階的に学ぶ「自己尊重トレーニング」が、好評を得ている。虐待、いじめ、野宿者襲撃事件などの暴力問題を取材するなかで、親も子も、問題の根底に「自分いじめ」があることを実感、理解する。人権尊重の教育の必要性を唱え、2008年に「ホームレス問題の授業づくり全国ネット」を設立。あらゆる「弱者いじめ」の解消にむけて教材用DVD映画「ホームレス」と出会う子どもたち」を制作。「ホームレス」を題材にした「いじめ防止」の画期的な教材として反響をよび、全国の学校、児童館等、教育現場で広く活用されている。(東京都教職員研修センター・人権教育資料センター選定ビデオ教材)。2010年、女性や社会的弱者の視点にたった人権活動が認められ、第6回よりジャーナリスト賞(女性人権活動奨励賞)を受賞。現在、YouTube「ねんこチャンネル」でもメッセージ配信中。

●主な著書

- 『子どもに「ホームレス」をどう伝えるかーいじめ・襲撃をなくすために』(生田武志・北村年子共著 ホームレス問題の授業づくり全国ネット編)
- 『ま、いっかど力をぬいて 幸せなママになるレッスン』(赤ちゃんとママ社)
- 『「ホームレス」襲撃事件と子どもたちーいじめの連鎖を断つために』(太郎次郎社エディタス)
- 『おかあさんがもっと自分を好きになる本ー子育てがラクになる自己尊重トレーニング』(学陽書房) 他

2021年 **10月30日** **土** 13:30～15:30(13:00開場)

会場 瑞穂市牛牧南部コミュニティセンター(瑞穂市牛牧1580-1) & オンライン

参加費 1,000円(会場定員50名先着順 要事前申込み)

主催・申込み先 NPO法人キッズスクエア瑞穂

Email: kids.sq@dream.com TEL/FAX: 058-326-2236

申込み時には、「名前・TEL」をお知らせ下さい



★講演終了後、自己尊重ワークショップを行います(15:45～16:30)。
参加希望の方は、申込み時に「ワーク参加希望」とお伝えください。追加料金はありません。

※オンライン参加を希望される方は、メールで申込みをお願いします。「名前・TEL・Email」をお知らせ下さい。参加費のお支払い方法について、返信メールでお知らせします。
参加費お支払いの確認をもって受付完了とさせていただきます。申込み締切りは10月25日(月)です。